

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ポータルスタジオCoreMore新都心スタジオ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日 ~ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日 ~ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職種の配置と多職種視点に基づいた発達支援	お子さまらしい育ちを支援するために、特別な誰かの偏った支援ではなく、専門多職種の視点を活かした支援に取り組んでいます。CoreMoreでは、お子様を中心としてスタッフと保護者様と一緒に支援を創り上げていく視点と意識を持って継続した支援に取り組んでいます。	専門職種の強みを活かしながら、職種に囚われない実質的な発達支援の在り方を模索し続けます。内部向けの研修にとどまらず、外部への発信ができるように保護者や地域向けの講座やイベントなどを実施できるように取り組んでまいります。
2	個別支援の考え方や提供の仕組み	「個別支援」とは、何か?を深く考察し定義づけ、一人ひとりのスタッフが理解に努めチームとして支援を提供しています。お子様の個別性に基づいて、より適切にCoreMoreのサービスを提供できるように「人/場所/時間/活動」をでき得る限り個別的に提供しています。お子様の課題に応じて個別支援を合同して行う小集団を見据えた個別合同支援の取り組みも行っています。	お子さまや保護者様の生活の視点や地域におけるお子様の姿を個別支援に反映できるように、保育所等への訪問や地域協議会への参画、近隣の保育所等との交流などができるように取り組んでまいります。
3	発達支援後の保護者と支援スタッフとの対話時間の確保	お子様への直接支援と共に保護者様とのお話の時間を設けており、情報共有からご相談までお受けする機会があります。時間の限りが当然ありますので、改めて個別の面談を設定するきっかけにもなり、お子様を中心とした発達支援の充実に寄与していると考えています。	保護者様のお話を聞かせていただくにあたって、発達支援の専門職としての立場を踏まえた適切な対応ができるよう、今後も内外研修の充実を図りつつ、スタッフ一人ひとり、また事業所として研鑽を積み上げてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育所等との交流	保育所等訪問や関係機関との連携、地域協議会等への参画を積極的に行ってきているが、地域保育所等との子ども達の交流に至っていない。相互理解し、交流可能な園等を見つけられない。	訪問や協議会などで情報共有や啓発的な活動においてインクルーシブな取り組みについて協力的な相手先を見つける努力を引き続き行ってまいります。
2	保護者会や父母会などの実施	保護者が集う場や機会を定期的に設けることができていない。近年、家族支援として保護者向けのイベントなどの機会を設けることができるようになってきている。	これまで積み重ねてきた家族支援の機会を、対象者を広げることや機会を増やすことにより、保護者会や父母会の機会を実施していくように努力してまいります。
3	避難訓練等訓練やマニュアルなどの保護者向けの周知	各分野(防災/虐待防止等)における事業所内に係担当、法人単位で委員会が設置され、事業所毎に委員が配置されています。年間計画に基づき、訓練や研修等を実施しています。事前のお知らせを行っているが不十分であった。	訓練等の周知に加えて、インスタグラム等を通じて訓練の実施について様子を伝えることなどを実施し、事前周知だけでなく事後の報告も実施することを検討いたします。